

セイタカアワダチソウ、アレチノギク等の抜根除草

四谷北通緑地 2020年9月



作業前



作業後

草本類の変遷



2020年11月



2021年4月



2022年10月



2022年10月

2020年9月にはセイタカアワダチソウやアレチノギクなど背丈の高くなる外来種などが繁茂していた。除草の継続とともに草本の種類が変わってきている。2020年11月や2021年4月の時点ではイネ科の牧草類などが目立っていたがヤワラスゲなど、スゲ属の在来種が群生してきて外来種の抑制ができてきている。低層ではヘビイチゴやカタバミなどが緑の絨毯を形成している。